

## 1月のアーティスト・イン・レジデンス プログラム

～ 松井周×村田沙耶香「新作クリエイション」～

横浜ダンスコレクション 2018

～ Aokid×橋本匠『we are son of sun!』&amp; 浜田純平『Sank you very much』～

～ 根本しゅん平『Living Room』～

1月に城崎国際アートセンターで予定されている、アーティスト・イン・レジデンス・プログラムをお知らせする。

1 松井周<sup>まついしゅう</sup>×村田沙耶香<sup>むらたさやか</sup>「新作クリエイション」滞在制作

## (1) 滞在制作

## ア 期間

平成30年1月5日（金）～12日（金）

## イ 内容・特色

- (ア) 『自慢の息子』(2010)で第55回<sup>きしだくにお</sup>岸田國士戯曲賞受賞の劇作家・演出家・俳優である松井周さんと、『コンビニ人間』(2016)で第155回芥川龍之介賞受賞の小説家・村田沙耶香さんの新作コラボレーション。
- (イ) 「世界や社会に対する強烈な違和感」を作品の共通点に持ち、舞台と小説というジャンル・男性作家と女性作家としての相違点を意識しながら、創作合宿を行う。
- (ウ) 2人が世界設定とコンセプトを一緒に考え別々の作品を作り上げる。2019年に小説・舞台の発表を予定している。



© 渡邊鮎彦 (カブカブ)

カタツムリは雌雄同体です。男とか女の性別を越えてゆうゆうとしているさまが、これから始めようとしている企画にぴったりです。渡邊鮎彦さんのこの絵は殻の真ん中にマグマが渦巻いているようです。それが外に流れ出ていくようにも見えます。ほのぼのとしたおかしさのうちに生命のほとぼしりを見るようで、じっと眺めてしまいます。(松井)

## (2) 地域交流プログラム

## ア 「新作クリエイション」リーディング試演会

多分野で活躍中の女優の青柳<sup>あおやぎ</sup>いづみさんによるリーディングと、松井さんと村田さんによるトークを実施する。

## (ア) 日程

平成30年1月11日（木）午後7時30分～

## (イ) 場所

城崎国際アートセンター

## (ウ) 料金

観覧無料

## (エ) 申込み

城崎国際アートセンターに電話またはメールで申し込む  
(イベント名、代表者氏名、人数、連絡先が必要)

## 2 横浜ダンスコレクション 2018

アオキッド はしもとたくみ Aokid×橋本匠『we are son of sun!』 & はまだじゅんぺい 濱田純平『Sank you very much』 滞在制作

《横浜ダンスコレクション 2018》

2018 年で 23 年目をむかえる国際的なダンスフェスティバル。世界的に活躍するアーティストによる領域横断的な創作や、国内外のコンテンポラリーダンスシーンをリードする振付家、近年の受賞振付家による意欲作を上演するフェスティバル。

### (1) 滞在制作

#### ア 期間

平成 30 年 1 月 15 日（月）～ 21 日（日）

#### イ 内容・特色

- (ア) 「横浜ダンスコレクション 2016」のコンペティション I の受賞振付家の 2 組による滞在制作。
- (イ) 1 組目は、ブレイクダンスで世界大会出場経験もあり、美術作家としても活躍中の Aokid と、俳優としても幅広い分野で活動中の橋本 匠さんのユニット。
- (ウ) 2 組目は、横浜ダンスコレクション 2016 で「若手振付家のための在日フランス大使館賞」を受賞した濱田純平さんが滞在制作を行う。



濱田純平『Convey』 ©Tsukada Yoichi



Aokid×橋本匠『フリフリ』  
©Tsukada Yoichi

### (2) 地域交流プログラム

#### ア 「Aokid×橋本匠」美術と身体のワークショップ

テーマに沿ってオブジェをつくり、身体との関わりをみつけるワークショップ。また、試演会では、参加者がつくったオブジェを使って Aokid さんと橋本匠さんがダンスを見せる。

#### (ア) 日程

平成 30 年 1 月 20 日（土）午前 11 時～午後 0 時 30 分

#### (イ) 場所

城崎国際アートセンター

#### (ウ) 料金

参加無料（※要事前申込）

#### (エ) 定員

15 名程度

#### (オ) 対象

小学生以上

#### (カ) 申込み

城崎国際アートセンターに電話またはメールで申し込む  
（イベント名、氏名、年齢、連絡先が必要）

**(キ) 託児サービス**

1月12日(金)までに城崎国際アートセンターへ電話で申し込む  
(対象：満1歳～就学前まで)

**イ 「Aokid×橋本匠」 & 浜田純平 試演会**

**(7) 日程**

平成30年1月20日(土) 午後2時～

**(イ) 場所**

城崎国際アートセンター

**(ウ) 料金**

観覧無料

**(エ) 申込み**

城崎国際アートセンターに電話またはメールで申し込む  
(イベント名、代表者氏名、人数、連絡先が必要)

**(オ) 託児サービス**

1月12日(金)までに城崎国際アートセンターへ電話で申し込む  
(対象：満1歳～就学前まで)

**3 根本しゅん平『Living Room』滞在制作**

**(1) 滞在制作**

**ア 期間**

平成30年1月24日(水)～2月10日(土)

**イ 内容・特色**

- (ア) 1999年ローザンヌ国際コンクールでエスポワール賞を受賞し、現在スウェーデン・ストックホルムを拠点にヨーロッパで振付家として活躍する根本しゅん平さんによる『Living Room』の滞在制作。
- (イ) 劇場空間をLiving Room(=さまざまな人が行き来するパブリックな部屋)としてとらえることで、パフォーマンスが行われる空間の中を観客が移動しながら自由に鑑賞することのできる作品の制作を行う。
- (ウ) パフォーマンスを行うダンサーと、会場を動き回る観客の姿をビデオカメラで撮影し、コンピューター処理した映像を会場内に投影する。
- (エ) 滞在終盤の試演会は、観客参加の効果を検証する。
- (オ) 滞在期間中、市内小学校でのダンスの出張授業を行うほか、KIACでの一般向けダンス・ワークショップも開催し、市民との交流を行う。



『I am capturing myself in a room』 ©根本しゅん平

## (2) 地域交流プログラム

### ア ダンス・ワークショップ

#### (7) 日程

平成 30 年 2 月 4 日 (日) 午後 2 時～

#### (イ) 場所

城崎国際アートセンター

#### (ウ) 料金

参加無料 (※要事前申込)

#### (エ) 申込み

城崎国際アートセンターに電話またはメールで申し込む  
(イベント名、氏名、年齢、連絡先が必要)

#### (オ) 託児サービス

1 月 26 日 (金) までに城崎国際アートセンターへ電話で申し込む  
(対象：満 1 歳～就学前まで)

### イ 試演会&トーク

#### (7) 日程

平成 30 年 2 月 9 日 (金) 午後 7 時 30 分～

#### (イ) 場所

城崎国際アートセンター

#### (ウ) 料金

観覧無料

#### (エ) 申込み

城崎国際アートセンターに電話またはメールで申し込む  
(イベント名、代表者氏名、人数、連絡先が必要)

#### (オ) 託児サービス

2 月 2 日 (金) までに城崎国際アートセンターへ電話で申し込む  
(対象：満 1 歳～就学前まで)

## 《参考》

### プロフィール

#### 1 松井 周 (Shu Matsui)

1972 年、東京都生まれ。1996 年に平田オリザ率いる劇団「青年団」に俳優として入団。その後、作家・演出家としても活動を開始、2007 年に劇団「サンプル」を旗揚げ、青年団から独立する。2011 年『自慢の息子』で第 55 回岸田國士戯曲賞を受賞。2011 年さいたまゴールド・シアター『聖地』(演出: 蜷川幸雄)、2014 年新国立劇場『十九歳のジェイコブ』(演出: 松本雄吉)、2016 年 KAAT 神奈川芸術劇場「ルーツ」(演出: 杉原邦生) など脚本提供も多数。松井周が描く猥雑かつ神秘的な世界の断片を、俳優とスタッフが継ぎ目なく奇妙にドライブさせていく作風は、世代を超えて広く支持を得ている。独特な世界観は New York Times で「最も注目すべき演出家」と紹介され、戯曲は英語・フランス語・イタリア語・韓国語で翻訳されている。2016 年には「離陸」で台湾に初上陸、2018 年 10 月には「自慢の息子」で「ジャポニズム 2018」フランスフェスティバル・ドートンヌ・パリへの参加が決定している。

#### 2 村田沙耶香 (Sayaka Murata)

1979 年、千葉県生れ。玉川大学文学部芸術文化学科卒。2003 (平成 15) 年「授乳」で群像新人文学賞 (小説部門・優秀作) 受賞。2009 年『ギンイロノウタ』で野間文芸新人賞、2013 年『しろいろ

の街の、その骨の体温の』で三島賞、2016年「コンビニ人間」で芥川賞受賞。著書に『マウス』『星が吸う水』『ハコブネ』『タダイマトビラ』『殺人出産』『消滅世界』などがある。

### 3 青柳いづみ (Izumi Aoyagi)

女優。2007年マームとジブシーに参加、08年チェルフィッチュに『三月の5日間』ザルツブルグ公演より参加。以降両劇団を平行し国内外で活動。近年は飴屋法水(演出家) や金氏徹平(彫刻家)、青葉市子(音楽家) との共同作品の発表や、チェルフィッチュ最新作「部屋に流れる時間の旅」、藤田貴大演出「ロミオとジュリエット」にロミオ役で出演。また、今日マチ子(漫画家) との共作漫画エッセイ「いづみさん」をPR誌ちくま(筑摩書房)にて連載。

### 4 Aokid (アオキッド)

ブレイクダンスチーム廻転忍者として高校生の頃より活躍。2008年には世界大会に出場する。東京造形大学では映画を専攻。当時からパフォーマンス、ドローイング、写真、文章、ビデオ、イベントなどを始める。形態にとらわれず、街をテーマにアクションを色んな角度より試みる。映画の影響で高校生の頃に独自の WATER BOYS を仲間と立ち上げる。2016年の個展『ぼくは”偶然のダンス”の上映される街に住んでいる。』(ガーディアンガーデン)や、2017年の単独公演『I ALL YOU WORLD PLAY』(横浜 ST スポット)も共に映画などを独自に咀嚼したリアクションとも言える。また現在継続して行なっているプロジェクト”aokid city”はパーティーなどへの、“どうぶつえん”は公共空間への提案がある。

### 5 橋本匠 (Takumi Hashimoto)

トランスフォーマー。「イメージ」が人類に与える影響を自分なりに表現している。その過程で「映像・身体・言葉」の緊密化を生み出す独自のインプロヴィゼーション方法論「トランスフォーメイソウ」を構築する。最近の発表は美術シーンを中心に「西荻映像祭」「KACトライアルプログラム(京都芸術センター)」「blanClass Live Art」など。俳優としても領域横断的に活動展開する。岸井大輔氏の演劇プロジェクト「始末をかく」に初期から参加。APAF 国際共同クリエイション公演 (ワン・チョン氏作品)に参加。演劇ユニット<山山山>の代表。吉原芸術大サービスの企画運営なども。

### 6 浜田純平 (Junpei Hamada)

北海道北広島市在住。9歳からダンススタジオマインドで hiphop、jazz、コンテンポラリー等を学び、ダンススタジオマインド及び北海道ダンスプロジェクト公演に多数出演。大学在学時、ダンスサークル「junction」に所属し、北海道学生ダンス連盟「spark」の理事長を務める。また同時期から、本格的にコンテンポラリーダンスの作品を制作し始める。横浜ダンスコレクション 2016にて「若手振付家のための在日フランス大使館賞」を受賞し、2017年1月より半年間フランスでレジデンスプログラムに参加。2017年7月に帰国。

### 7 根本しゅん平 (Shumpei Nemoto)

6歳より根本バレエ教室でバレエを始め、1999年ローザンヌ国際コンクールでエスポワール賞を受賞。同年、イングリッシュ・ナショナル・バレエスクールに留学し、翌年、17歳で英国ロイヤルバレエに入団。2003年にはデュッセルドルフ・バレエに移り、2007年から2013年にかけてクルベリ・バレエ(ストックホルム)にてダンサーとして活躍。以後、振付家としてヨーロッパを中心に活動し、国内外の大学などでゲスト教員として指導にもあたっている。なお、2009年から映像作家としても活動し、ドイツをはじめヨーロッパ、北アメリカ、南アメリカなどのダンスフィルム・フェスティバルにて数々の作品を発表している。

〔問合せ〕 豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016  
事業内容については  
城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888